



Newsletter

vol. 45

新理事長ご挨拶 ●
巣立った子どもたちの今 ●



新理事長ご挨拶

「子どもたちのために」

理事長 菱田 理



みなさん、こんにちは。

2021年6月、多田前理事長の後任として特定非営利活動法人子どもセンター「パオ」の理事長に就任しました菱田理です。副理事長として、「パオ」の活動に携わってきましたが、いま理事長としての責任の重さを改めて感じております。前理事長の多田さんをはじめ多くの支援者、職員が築き上げてきた実績と信頼、そして高い理想を引き継ぎ、「パオ」のさらなる発展のために微力を尽くしてまいりたいと思っています。

「パオ」は、子どもの権利を守るため、いじめや体罰、虐待、不登校、少年非行などの困難を抱える子どものためのシェルターやステップハウスの設置運営事業、このような子どもへの法的支援を含む救済事業、子どもの問題についての講座等の開催事業などを行い、これらの事業を通じて、社

会の未来を担う子どもの福祉と健全育成に寄与することを目的として活動してきました。これまでの活動を通して、貧しさが厳しく襲いかかり、競い合わされる中で振り分けられ、いまや目に見えない溝で子どもたちが分断されてしまっているように見えます。そんな中で、子どもたちは孤立し、さ迷い歩いて自分を見失い、自暴自棄になって深い孤独へと進んでしまっているように見えます。そして、子どもたちはやがて居場所を持たなくなってしまう、生きづらさと、困難さを抱え、自分を消してしまうように見えます。

いま、子どもたちには、消された自分を取り戻し自分らしく生きていけるように支援が求められます。子どもの声を聴き、つなげあい、共に歩いていく。そして、明るく、楽しく、豊かな生活を送れるように支援が求められます。その支援で肝心なのは子どもが「人として尊重される」ことにあります。

ひとりの人を真ん中に、支える人たちに出会いつなげあう支援を広げて、「パオ」はこれまで進んできました。支援の輪は広がってきています。皆様様の多大なご支援に、深く感謝いたします。

今後とも子どもセンター「パオ」に対する皆様方のさらなるご支援、ご協力をお願い申し上げます。